

奄美大島オープンウォータースイミング 2023年・秋季大会

二次要項資料

※参集しての監督者会議は行いませんので内容のHP等での事前確認及び参加者への周知徹底をお願い致します

【概要】

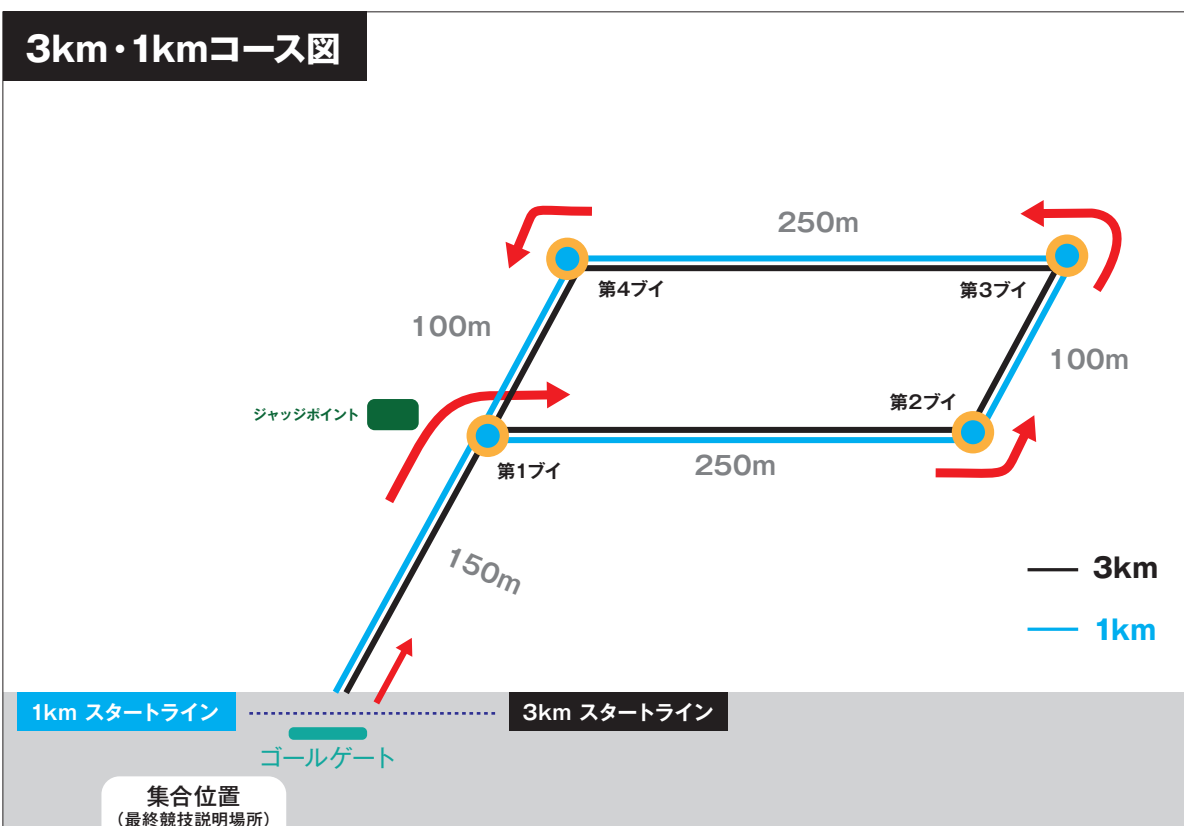
主催 / (一社)AMAMISM振興協会 (主管 / 奄美OWS実行委員会)
日時 / 2023年11月19日(日) 7:00~14:00
会場 / 奄美リゾートばしゃ山村 (鹿児島県奄美市笠利町大字用安1246-1)
コース / 3.0 km / 1.0 km / リレー
ルール / (公財)日本水泳連盟OWS競技規則に準じ、一部ローカルを適用する。
HP / <https://amamiows.com/>

【スケジュール】

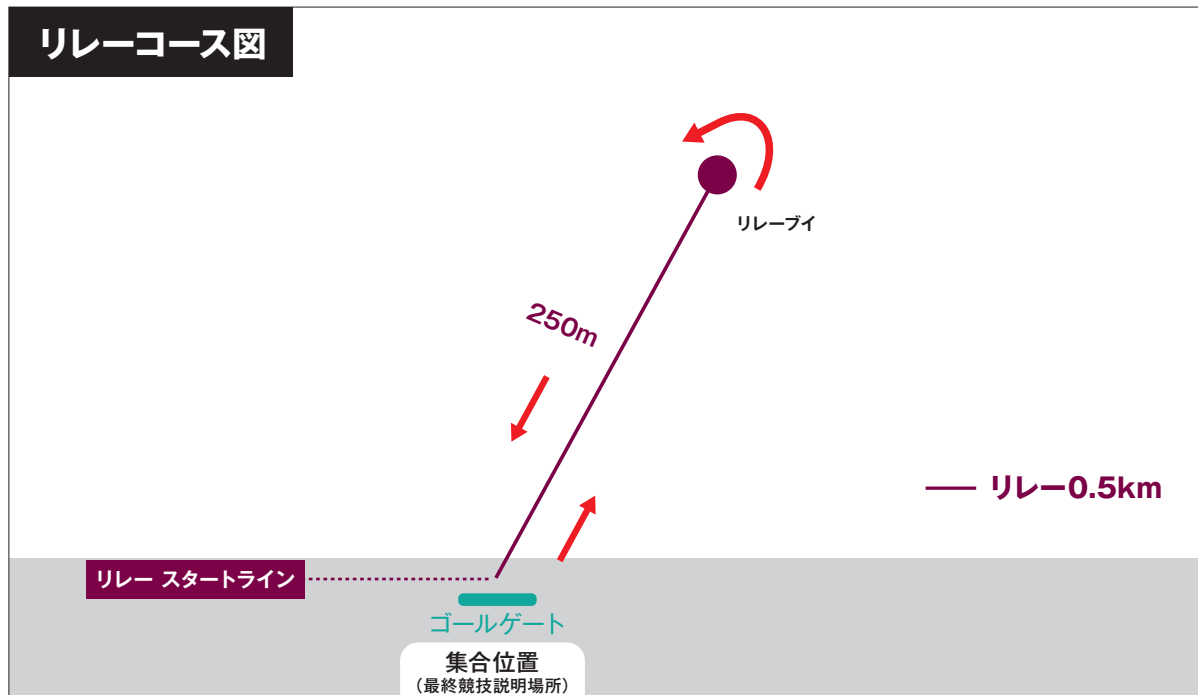
7:00~8:30..... 受付開始 (※各種目招集開始の30分前まで)
7:30~8:30..... 公式練習
8:40..... 3km招集/最終競技説明
9:00..... 3km男女スタート
10:10..... 1km招集/最終競技説明
10:30..... 1km男女スタート
11:10..... 500m×3名 リレー招集/最終競技説明
11:30..... 500m×3名 リレースタート
13:00..... 表彰式 閉会式後にビーチクリーンを行います。(10分程度)

【コース】

本大会のコースは、第1ブイから第4ブイを反時計回りに周回するコースです。
距離別の周回数とスタート位置は下記の通りです。



- 3km: 砂浜よりスタート、第1~第4ブイ700mの周回コースを4周 (2,800m)、周回を終えたら陸上のゴール
Total: 3,100m
- 1km: 砂浜よりスタート、第1~第4ブイ700mの周回コースを1周 (700m)、周回を終えたら陸上のゴール
Total: 1,000m



- **リレー0.5km**: 砂浜よりスタート、第1ブイ延長線上250mのリレーブイを折り返す (500m)、3名周回を終えたら陸上のゴール Total: 1,500m

■ 競技について

※参加者の皆さまは、下記の全ての項目について留意・確認・同意をした上でレースへの参加をお願いいたします。

【装備】

- 参加者は、着けるもので、浮力を高めるブイ、ウェットスーツ、ラッシュガード、スイムキャップ、ゴーグル等の使用は許されますが、安全管理上音楽用イヤホン使用は禁止とします。
- 一般的な日焼け止めやワセリン、ラノリン等の使用は可能です。
- 参加者は腕時計の着用が可能です。(ラバー、プラスチック製のものであり、金属のものはカバーを装着することが好ましい)
- 上記以外の使用で不安な点については事前に実行委員会に相談ください。
(但しRESTUBEについては、その安全性に鑑みて相談せずに着用することが可能です。※注意:但し膨らませた時点でリタイヤしたものとみなします[退水対象となります])

【スタート】

- 指定された時間内に召集場所に入らない場合には、当該参加者は失格となります。
- 泳力に自信のない完泳目的の参加者は、競技志向の参加選手の最後方より、余裕を持ってスタートして下さい。
- 砂浜からスタートします。怪我をしないよう細心の注意をはらい入水してください。
- スタート前は、1分前、30秒前、10秒前をコールし、スタート時は電子ホイッスルを鳴らします。

【ゴール】

- 1.参加者が既定の周回をこなした後、GOALゲートを通過した時点時点を正式計時のゴールタイム、着順として取り扱います（各距離共通）。
- 2.砂浜上では、前の参加選手を追い抜いても構いません。

【コース】

- 1.泳ぐコースは、基本的にはフリーですが、安全管理上、コース上の参加者（泳者）から見てブイの外側（右手側）を泳ぐことを原則としてお願いします。ブイを回る際も必ず外側を反時計回りに回ることとします（但し安全上やむを得ない場合を除く）。
- 2.参加選手がコースを大きく逸脱した場合には、ガードから参加選手に対してコースを修正するよう注意の呼びかけを行います。ガードが複数回の注意を行った時点で、レースディレクター（以下RD）が競技中止・退水措置の判断を行う事ができるものとします（但し運営に支障をきたすほど著しくコースを外れた場合には即時失格〔退水措置〕とすることがあります）。
- 3.ガード体制は、原則として、コースの外側にPWC、内側にライフセーバー（レスキューボード）という配置で行います。

【制限時間】

- 1.3km：90分以内（但し2周回完了を65分以内で通過出来ない場合、リタイヤ〔退水措置〕対象とする場合がある）
1km：60分以内
リレー：30分以内（1人）
- 2.上記を制限時間とし、その時点でコースは閉鎖となりますので、競技続行中の参加者はPWCなどの救助監視艇で速やかに陸上に搬送されます（退水措置）。その際は勝手にコースを外れ泳いだりせず、必ず近くのライフセーバーの指示に従ってください。退水者が多い場合には、一時的にライフセーバー所有のボード等につかまらせて待機させる場合があります。
- 3.ゴール目前で制限時間となる場合には「そのままゴールまで泳いで構わない」とする場合がありますが、正式記録の対象にはなりません。なお、参加者を退水させるかゴールまで泳がせるかの判断はRDが行います。
- 4.レース当日の気象や海象の悪化などの理由により、上記1の制限時間が繰り上がる場合があります。
- 5.制限時間に到達すると、大会本部よりホイッスルを鳴らして海上の参加選手・スタッフに伝達します。

【退水措置】

レース中、退水の指示を受けた参加者は、リタイヤ者としてPWCなどの救助艇で陸上に搬送されますので、必ずその指示に従ってください。

【抗議】

- 1.参加選手は、失格措置や着順判定について抗議をすることができます。抗議をする場合には、ゴール後20分以内にRDまでその旨を告げなければなりません。
- 2.当該参加選手より抗議を受けた場合には、RDは速やかに実行委員長、RD、競技審判長からなる『上訴審判団』を結成し、最終判定を下すものとします。

【ウォームアップ・ダウン】

ウォームアップおよびダウンは、指定されたエリアで行って下さい。

またエリア範囲につきましては、監視員の指示に従って下さい。競技中の自由遊泳は禁止です。

【表彰式】

速報を張り出します。各種目総合3位まで入賞の選手、年代別優勝の選手はレース終了後の表彰式への参加をお願いします。参加出来ない選手は実行委員へ報告をお願いします。